

## SDGs 重点事業の選定について

### 1 SDGs 重点事業とは

SDGs の目標年（2030年）に向けて、令和4年度～6年度の3年間（※）を「推進重点期間」として、令和6年度末での目標指標を設定し、毎年の進捗管理を行うことで、市として重点的に取り組む事業 ※3年ごとに重点事業の見直しを行います

<SDGs 重点事業の取り組みサイクル>



### 2 選定の方法

重点事業の選定にあたっての基本的な考え方として、SDGs の推進の視点を踏まえ、4つの基準からなる「重点事業選定基準」を定めました。

<重点事業選定基準の概要>

	基準項目	内容
基準1	重点的に取り組むゴール（3、4、11）への関連	17のゴールのうち、市として重要と定めるゴールに関連する取り組みであるか。
基準2	3側面への統合的な取り組み	環境・社会・経済の3側面にまたがる取り組みであるか。
基準3	ステークホルダーとの連携	市民や事業者等の関係者と効果的に連携した取り組みであるか。
基準4	進捗度合いの評価	毎年度の事業進捗の度合いが客観的に明確な取り組みであるか。



庁内各課から提出された事業について、重点事業選定基準に政策的な視点を加味した選定を行い、えびなSDGs推進委員会での審議を経て、別紙の17事業を令和6年度までの重点事業として、えびなSDGs推進本部にて決定しました。

### 3 今後の予定

重点事業については、毎年度取り組みの進捗状況を把握し、評価することとしているため、今年度中に評価方法について整理し、次年度からは重点事業を中心に、全庁が一丸となってSDGsの取り組みを推進してまいります。

また、官民連携による取り組みを加速するため、外部団体の設置についても検討を進めてまいります。

## ＜SDGs 重点事業一覧＞

事業名	事業の概要	関連するSDGsの目標
行政手続きオンライン化事業	行政手続きのオンライン化を推進し、市民の利便性向上を図ります	3, 8, 9, 11, 13, 15, 17
公共施設等整備促進事業	公共施設を適正に整備し、住み続けられるまちづくりを目指します	11, 12, 13, 17
えびな市民活動センターの運営による市民活動の推進および健康増進事業	施設利用を促進し、市民活動の活性化や健康増進を図ります	3, 4, 7, 11, 13, 17
交通安全運動推進事業	市民の交通安全意識を高め、交通事故の防止を図ります	3, 11, 17
男女共同参画推進事業	男女共同参画を推進し、誰もが活躍できる社会の実現を目指します	3, 4, 5, 8, 10, 11, 16, 17
えびな健康マイレージ事業	市民自らの健康づくりの機運を高め、心身の健康増進を図ります	3, 9, 11, 13, 17
障がい者自立支援給付費等事業	障がい者が地域で自立した生活をするための支援をします	3, 4, 8, 11, 16, 17
公立保育園における幼児啓発事業	園児がさまざまな経験を通して豊かな幼少期を送れるよう保育環境を整備します	3, 5, 10, 12, 15, 17
市内の温室効果ガス排出量削減推進事業	市民や市内事業者と共に市内から出るCO <sub>2</sub> 削減に取り組みます	3, 7, 11, 12, 13, 17
事業系ごみ減量化事業	市内事業者と共に、事業系ごみ減量化を推進します	11, 12, 13, 17
SDGsから学ぶごみの分別・減量化事業	SDGsを活用した周知啓発により、ごみの分別などへの理解を深めます	11, 12, 13, 17
市役所周辺地区における新市街地の形成事業	市役所周辺の道路や下水道などの基盤整備と良好な住環境の形成などを推進します	3, 8, 9, 11, 13, 14, 17
雨水管渠 <sup>きよ</sup> 整備事業	雨水施設の整備促進を図り、豪雨などの浸水被害の対策に取り組みます	2, 3, 6, 8, 9, 10, 11
汚水管渠維持管理事業・汚水管渠整備事業	汚水施設の整備と適切な維持・管理に取り組みます	3, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 14, 17
救急救命体制の充実強化および応急手当て等の普及啓発事業	救急救命体制の強化や応急手当ての啓発により、市民の安全・安心を守ります	3, 8, 11, 17
小・中学校給食(フードロスの削減)事業	学校給食を通じてフードロス削減の意識・行動の醸成に取り組みます	2, 3, 4, 10, 12, 13, 17
教育支援体制、子ども・学校支援体制充実事業	全ての子どもたちを対象にした教育支援と学校支援などに取り組みます	3, 4, 10, 17

## 2050年ゼロカーボンシティ宣言の表明について

本市では、ごみ減量化や環境保全対策支援事業等、積極的な市域内のCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）削減に取り組んできました。

近年、地球温暖化対策に関する自治体への社会的要請が年々大きくなる中、本年度より本格的にSDGsの取り組みをスタートし、全庁的な推進体制が整ったことから、本市においても宣言表明の時期に達しているものと判断し、市域内でCO<sub>2</sub>削減に向けた取組みの加速化を図るため、「2050年ゼロカーボンシティ宣言」を表明したものです。

### 1 2050年ゼロカーボンシティ宣言とは

「2050年にCO<sub>2</sub>を実質ゼロにすること」を目指す旨を、首長自ら又は地方自治体として公表すること

### 2 表明方法

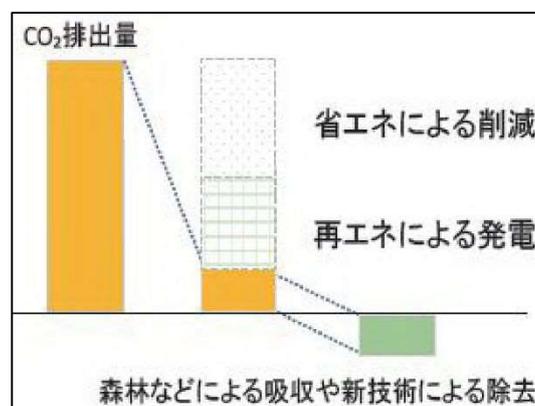
令和4年11月3日（木）に開催した市制施行51周年式典における式辞にて本市における「2050年ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

なお、2050年ゼロカーボンシティ宣言に関するホームページも同日に公開し、別紙の「海老名市ゼロカーボンシティ宣言書」を公表しております。

### 3 今後について

市民や市内事業者の皆様に対し、太陽光発電設備や電気自動車等の設置・購入費用の補助を引き続き積極的に実施するとともに、市域における現状を調査・把握した上で、公共施設や民間建築物等への再生可能エネルギーの導入に関する具体的な施策等を検討し、2050年までの脱炭素社会実現へ向けた取組みを加速させてまいります。

#### 【ゼロカーボンのイメージ】



## 海老名市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化を起因とする気候変動の影響により、猛暑や集中豪雨等による自然災害が激甚化・頻発化し、私たちの生活に深刻な影響を及ぼしています。

2018年に公表されたIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書では、これらのリスクを低減するためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにして気温上昇を1.5℃に抑えることが必要である旨が示されるとともに、本年4月に公表されたIPCCの報告書において、2025年までに世界全体の温室効果ガス排出量を減少させる必要性について言及されるなど、地球温暖化の防止は世界共通の喫緊の課題となっています。

我が国においては、2020年に「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、全国各地で脱炭素に向けた様々な取組みが進められています。

自然と都市が共存する海老名市においても、市民一人ひとりが自分事として自覚をもって行動し、恵まれた環境をより良い状態で将来の世代に引き継いでいくことが重要です。

これらを踏まえ、海老名市はSDGs(持続可能な開発目標)の理念のもとに、市民や事業者、行政などあらゆる主体の協働による脱炭素に向けた取組みを加速するため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質的にゼロにする「海老名市ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年11月1日 海老名市長 内野 優

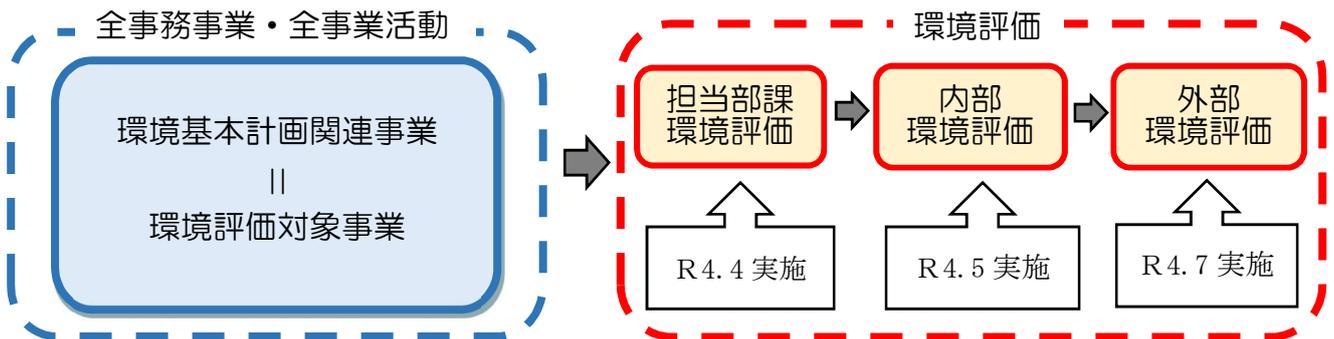


## 海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の実施結果について

海老名環境マネジメントシステムにおける取組みとして、令和3年度事業を対象に実施した環境評価の結果を別添の「環境評価結果報告書」として取りまとめましたので、概要を以下のとおり報告します。

### 1 環境評価の概要

EMSでは海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。環境評価対象事業については事業所管課において調書を作成し、事業が環境に与える負荷を最小限なものとなるよう努めています。なお、環境評価は原則として当該調書を基に実施しました。



### 2 環境評価の実施結果

環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業があり、担当部課環境評価及び内部環境評価については29の事業ごとに、外部環境評価は9つの施策ごとに、4段階の基準に基づいて評価を行いました。

環境評価基準	担当部課 環境評価	内部 環境評価	外部 環境評価
4:計画を上回る環境配慮を実施できた。	5事業	5事業	2施策
3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	18事業	19事業	6施策
2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	6事業	5事業	1施策
1:ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。	0事業	0事業	0施策

一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された施策や事業があるものの、全体的には、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

参考：「4：計画を上回る環境配慮を実施できた」と評価された事業（個別指標）・施策（目標指標）は以下のとおりです。

○事業（個別指標）：生ごみ処理機の普及率、生物多様性に関する情報の発信回数、水洗化率、農作業受委託面積、海老名市地域緑化事業への登録団体数

○施策（目標指標）：農地面積、環境への関心度

### 3 外部環境評価における主な意見

外部環境評価を実施する中で、海老名環境マネジメントシステム専門部会委員の皆様から多くのご意見をいただきました。体系ごとの評価を踏まえた総括的な意見の概要は次のとおりです。

#### ①取組み活動

えびなSDGs環境マイレージ等の非常に良い活動が、各担当部課で実施されています。また、手作り動画によるYouTubeでのごみの情報発信等、SNSを利用して情報発信していることも大変評価できます。

#### ②目標設定

各担当部課において、地道な活動ができていると感じます。

目標指標が大きく、個別指標の達成だけでは目標指標を達成しきれていないように感じた部分もありますが、令和11年度の目標ということも考慮できます。

各担当部課の活動がより繋がるように、今後の中間見直しの際にはよく検討していただきたいと思います。

#### ③全体

全体を通して、各担当部課が良いことに取り組んでいることがよくわかりました。

今後も是非、より良い活動をされることを望んでいます。

### 4 今後の取扱い

評価結果及び意見については、庁内に展開して、さらなる改善に努めてまいります。

また、市の環境に関する取組みをまとめた冊子である「えびな環境白書」に掲載して、公表することにより、市の取組み状況を市民等に周知してまいります。

# 海老名環境マネジメントシステム 環境評価

## 令和3年度実施事業 環境評価結果報告書

令和4年11月

経済環境部 環境政策課

## 目 次

1	海老名環境マネジメントシステムについて	1
2	EMSの主な取り組み	1
3	環境評価の概要	1
4	環境評価の実施体制	2
5	環境評価の実施結果	2
6	外部環境評価の結果	3
7	環境評価結果の活用及び公表	4

海老名環境マネジメントシステム令和3年度実施事業環境評価結果

## 1 海老名環境マネジメントシステムについて

本市では、平成13年度に環境に関する国際規格のISO14001の認証を取得し、PDCAサイクルに基づく業務改善と環境負荷の軽減に努めてまいりました。認証取得後15年が経過し、市職員には環境負荷軽減に対する意識が浸透し、また、PDCAサイクルに基づき事業へ取り組む姿勢を培うことができました。

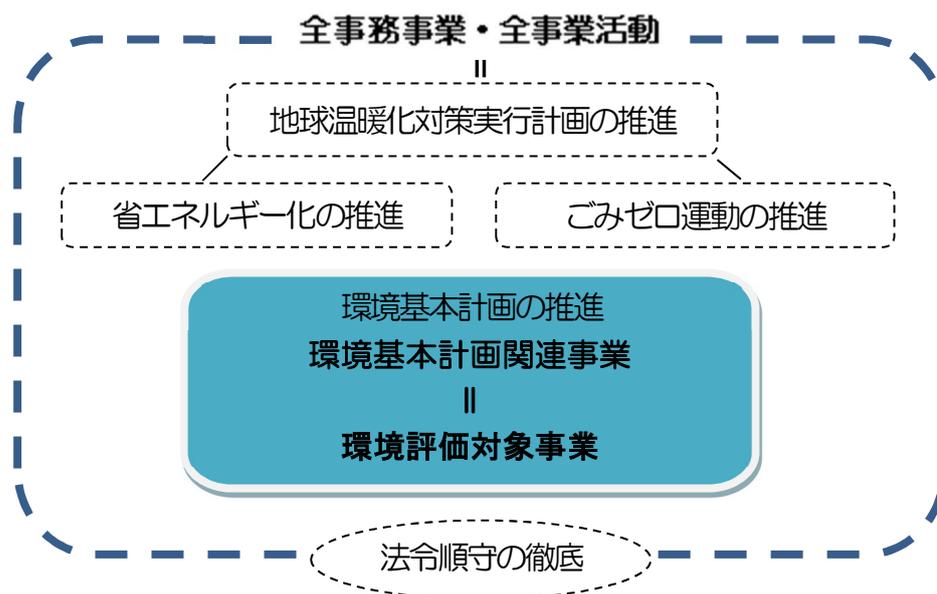
こうした中、これまでのISO14001における取組を踏まえつつ、より効率的で効果的な環境配慮活動を推進するため、市独自のマネジメントシステムである「海老名環境マネジメントシステム（EMS）」を新たに構築し、平成29年4月より運用しています。

## 2 EMSの主な取り組み

EMSでは、「全ての事務事業・事業活動における環境配慮の日常化」と「環境法令等の順守の徹底」に向けてし、以下の取組を実施しております。

- ア 環境基本計画の推進
- イ 地球温暖化対策実行計画の推進
- ウ 環境法令等の順守
- エ 職員への研修

### <EMSの体系図>



## 3 環境評価の概要

海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。各事業の所管課では、環境評価対象事業について調書を作成し、その調書に基づいて環境基本計画の進行管理を実施しています。各事業の推進状況は、事業を実施した翌年度に環境評価を実施し、継続的な改善に努めていきます。

## 4 環境評価の実施体制

環境評価は、所管課による担当部課環境評価、内部環境評価委員による内部環境評価、海老名市環境審議会海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部環境評価の3段階で実施します。

### <段階別評価の概要>

① 担当部課評価	
対象	環境評価対象事業
実施概要	前年度に実施した環境評価対象事業の取り組み状況を自己評価する。
評価者	事業の所管課等
② 内部環境評価	
対象	担当部課評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	担当部課環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	内部環境評価委員（内部環境監査委員）
③ 外部環境評価	
対象	内部環境評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	内部環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	外部環境評価委員（環境審議会EMS専門部会委員）

### <環境評価のイメージ>



## 5 環境評価の実施結果

令和3年度に実施された環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業です。担当部課評価及び内部環境評価については事業ごとに、外部環境評価は施策の方針ごとに、4段階の基準により評価しました。

### <環境評価の実施時期>

担当部課評価	令和4年4月
内部環境評価	令和4年5月
外部環境評価	令和4年7月

<環境評価基準別の評価結果>

環境評価基準	担当部課 環境評価	内 部 環境評価	外 部 環境評価
4：計画を上回る環境配慮を実施できた	5事業	5事業	2施策
3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた	18事業	19事業	6施策
2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった	6事業	5事業	1施策
1：ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった	0事業	0事業	0施策

## 6 外部環境評価の結果

外部環境評価では、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された体系や事業があるものの、全体としては、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

<外部評価の総括意見>

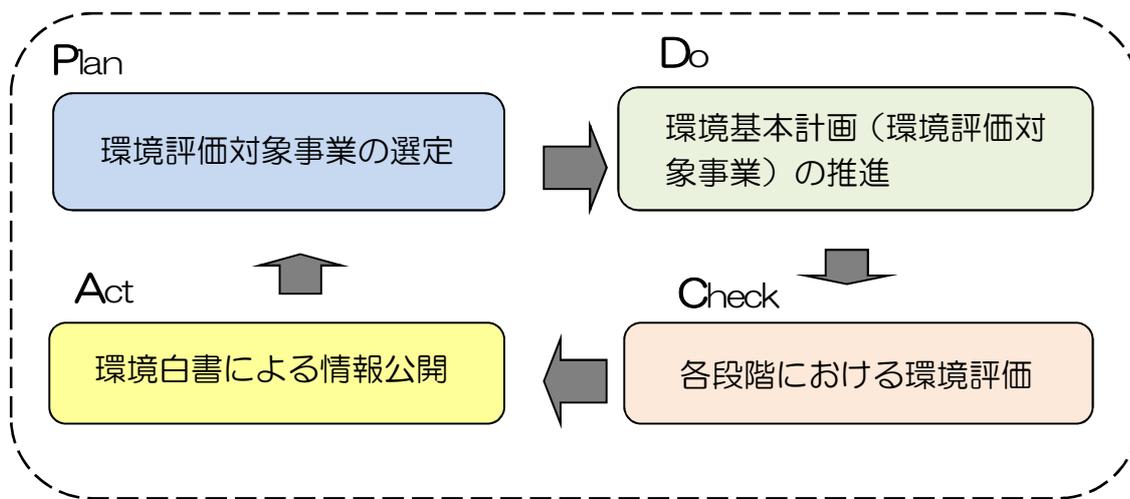
① 取組み活動
<p>えびな SDGs 環境マイレージ等の非常に良い活動が、各担当部課で実施されています。</p> <p>また、手作り動画による YouTube でのごみの情報発信等、SNS を利用して情報発信していることも大変評価できます。</p>
② 目標設定
<p>各担当部課において、地道な活動ができていると感じます。</p> <p>目標指標が大きく、個別指標の達成だけでは目標指標を達成しきれていないように感じた部分もありますが、令和 11 年度の目標ということも考慮できます。</p> <p>各担当部課の活動がより繋がるように、今後の中間見直しの際にはよく検討していただきたいと思います。</p>
③ 全体
<p>全体を通して、各担当部課が良いことに取り組んでいることがよくわかりました。</p> <p>今後も是非、より良い活動をされることを望んでいます。</p>

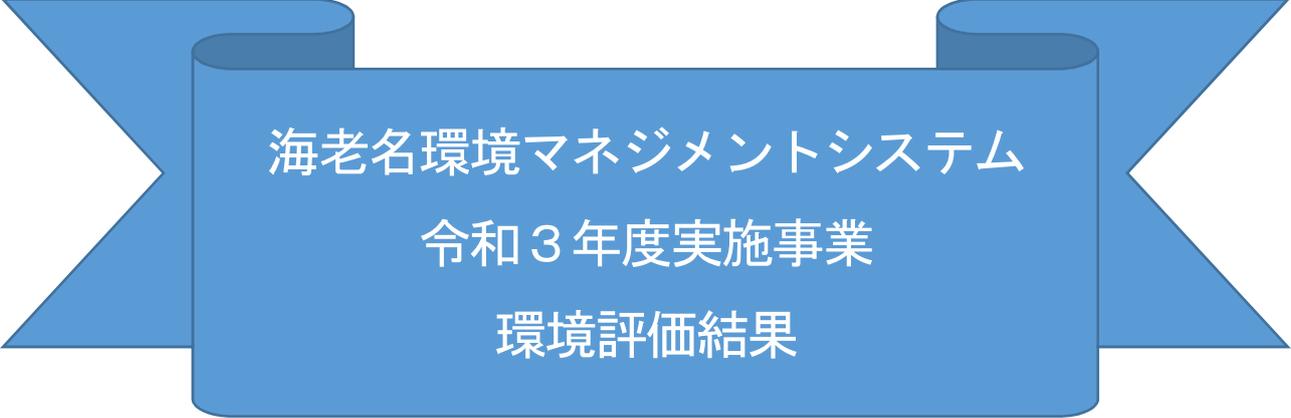
## 7 環境評価結果の活用及び公表

環境評価の結果及び意見については、市職員に展開し、事務事業の改善を促すことで、全庁的な環境配慮をさらに向上するためのツールとして活用していきます。

また、毎年、市で取りまとめている「環境白書」に環境評価結果及び意見を掲載し、ホームページ等を通じて市民に公表することで、市で行っている環境配慮活動を周知するとともに、市民の環境配慮への意識の醸成を図ります。

### <EMS環境評価のPDCAサイクル>





海老名環境マネジメントシステム  
令和3年度実施事業  
環境評価結果



## 環境評価対象事業環境評価調書 (令和3年度実施事業)

施策	事業	ページ
1-1 地球温暖化対策を推進します	市の事務事業における温室効果ガス排出量	1~6
	個人住宅用太陽光発電導入状況（補助制度累計kw数）	
	エネファーム導入状況（補助制度累計台数）	
	低公害車の導入状況（補助制度累計台数）	
1-2 循環型社会を形成します	リサイクル率	7~12
	事業系ごみ排出量	
	市庁舎におけるごみ排出量	
	生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）	
1-3 緑・水・生きものと共生します	自然緑地保全区域面積・樹木数	13~17
	緑化に関する情報の発信回数	
	生物多様性に関する情報の発信回数	
2-1 水環境を守ります	水洗化率	18~22
	公共下水道の普及率	
	水循環に関する情報の発信回数	
2-2 生活環境を守ります	大気質環境基準達成状況	23~27
	コミュニティバス利用者数	
	騒音に関する相談件数	
3-1 都市環境を整備します	道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	28~32
	美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	
	えびなクリーン作戦参加者累計数	
3-2 農業地を守ります	農作業受委託面積	33~37
	市民農園利用者数	
	農業体験イベント参加者数	
3-3 地域資源を守ります	郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	38~41
	歴史関連イベント・講座参加者数	
4-1 環境を考え、行動します	環境関連情報発信回数	42~47
	啓発・出前講座参加者数	
	海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	
	海老名市地域緑化事業への登録団体数	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1 地球温暖化対策を推進します	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
市域からの温室効果ガス排出量		960千t-CO2	
1,055千t-CO2 (平成28年度)	794千t-CO2 (令和11年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
市の事務事業における温室効果ガス排出量	2	2	結果としては達成見込を上回ることはありませんでしたが、防犯灯のLED化等、可能な範囲での省エネ設備の導入が図られたため、目標指標達成に寄与したと考えます。
個人住宅用太陽光発電導入状況	3	3	コロナ禍で十分とは言えないまでも、周知の影響もあり、達成見込を上回ることが出来ました。
エネファーム導入状況	2	2	イベント等の十分な周知啓発が行えなかった中で、多くの台数を導入できたと考えています。
低公害車の導入状況	3	3	十分な周知を行えなかった中で、一定の成果を残せたものと考えます。
外部評価			
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。		
判断理由及び評価内容			
<p>令和3年度から財務部営繕課が、全公共施設の「個別施設計画」策定の中心となり、設備機器の維持管理を含めた全公共施設の計画策定に動き始め、その中で、全公共施設の光熱水費のデータを集約し、運用面のチェックを行う体制作りを始めたことについては、海老名市地球温暖化対策実行計画の基本方針2、3の具体策であり、たいへん評価できます。</p> <p>これらの推進・進捗状況を管理計画・環境評価書に落とし込み、PDCAを回していくことを推奨します。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
市の事務事業における温室効果ガス排出量			11,077t-CO2 (H28/2016)	6,900t-CO2	( R11/2029 )
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します			
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
海老名市地球温暖化対策実行計画に基づいて、公共施設への省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進を図るとともに、施設管理者や利用者の省エネ意識啓発に取組みます。			9,471t-CO2 (1,606t-CO2削減)	— 千円	
			達成率： 72.8%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
市の事務事業による温室効果ガス排出量が、コロナ禍によりどの程度影響を受けているのか判別できないため、市の取組みがどの程度排出量削減に繋がったか見極めが困難。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・地球温暖化の抑制			・省エネ工事による廃棄物の増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・温室効果ガス削減に関する相談			・省エネの情報収集及び提供		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。</li> <li>公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。</li> </ul>			9,371t-CO2 (概算) (1,706t-CO2削減)	達成率：73.6%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。</li> <li>公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。</li> <li>防犯灯のLED化等、可能な範囲での省エネ設備の導入が図られました。</li> </ul>			9,680t-CO2 (概算) (1,397t-CO2削減)	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	公用車の管理方法の変更に伴い、エネルギー使用量の報告方法を見直し、事務の簡素化を図りました。				
課題等	公共施設の利用時間が伸びたこと等を要因としてCO2排出量が増加しているため、更なる削減策について検討する必要があります。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	依然、コロナ禍で厳しい制約がある中で、可能な範囲での取組みに努めましたが、令和2年度に比べ、公共施設の利用時間が伸びたこと等を要因としてCO2排出量が目標値を上回る結果となったため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと判断します。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課の評価にもありますが、令和2年度に比べCO2排出量が目標値を上回る結果となったため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと判断します。依然、コロナ禍で厳しい制約がありますが、今回以上の排出削減となるよう、可能な範囲での今後の取組に期待します。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	1	—	b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
個人住宅用太陽光発電導入状況(補助制度累計kw数)				8,649kw(H30/2018)	13,000kw (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内に太陽光発電施設を設置した方に対し、経費の一部を発電能力に応じて補助。				10,023kw			9,000 千円		
				達成率: 77.1%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
新型コロナウイルス感染症拡大により環境イベントでの周知が出来ず、周知機会が十分に得られなかった。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民及び事業者における省エネの推進</li> <li>市域のエネルギー使用量削減</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ設備導入工事による廃棄物の増加</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容に関する意見・要望</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容の見直し</li> </ul>				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	太陽光発電施設への補助実績 件数: 77件 補助額: 8,332,000円 総出力: 431.19kW (R1 503.90kW) 取組実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施</li> </ul>							9588kw	
								達成率: 73.8%	
令和3年度	太陽光発電施設への補助実績 件数: 76件 補助額: 9,226,000円 総出力: 491.23kW 取組実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進</li> </ul>							10079kw	
								達成率: 77.5%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	押印制度の見直しを踏まえて、申請書類の大半について押印不要とし、申請手続きの簡素化を図りました。								
課題等	市域内のCO2削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベント等の周知が十分に行えないなどあったが、可能な範囲で周知啓発を図った結果、目標をわずかに上回る結果となったため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。							
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベント等の機会に恵まれない中、目標を上回る結果を実現されており、日常的な周知啓発の賜物であると判断します。今後もさらに推進できるよう普及策の検討を重ねられることを期待します。							

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	1	—	c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
エネファーム導入状況(補助制度累計台数)				210台(H30/2018)	430台 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内にエネファームを設置した方に対し、経費の一部を補助。				271台			1,500 千円		
				達成率: 63.0%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
国がエネファームの導入支援制度を令和2年度をもって終了したため、今後市としても当該施設導入の補助金について検討が必要であると考える。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民及び事業者における省エネの推進</li> <li>市域のエネルギー使用量削減</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ設備導入工事による廃棄物の増加</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容に関する意見・要望</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容の見直し</li> </ul>				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	エネファームへの補助実績							249台	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 15件</li> <li>補助額 900,000円</li> </ul> 取組実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>開発事業者への事前の要望</li> <li>前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施</li> </ul>							達成率: 57.9%	
令和3年度	エネファームへの補助実績							261台	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 12件</li> <li>補助額 720,000円</li> </ul> 取組実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>開発事業者への事前の要望</li> <li>申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進</li> </ul>							達成率: 60.7%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	押印制度の見直しを踏まえて、申請書類の大半について押印不要とし、申請手続きの簡素化を図りました。								
課題等	市域内のCO2削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベント等の周知が十分に行えなかった中で、可能な範囲で周知啓発を図ったものの、目標値に及ばず前年度実績も下回ったことから、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと判断します。							
内部環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。新型コロナウイルス感染症拡大影響下での周知啓発の方法を工夫、見直しする等、可能な限り普及策を検討していただき、今後の事業を実施されることを期待します。							

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	1	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
低公害車の導入状況(補助制度累計台数)				170台 (H30/2018)	500台 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内で、新規に対象の低公害車を導入された方に対し、費用の一部を補助。				242台			4550 千円		
				達成率: 48.4%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
新型コロナウイルス感染症拡大の関係で、イベント等での低公害車の展示が中止となり、周知の機会が十分に得られなかったため、周知方法の検討が必要と考える。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民及び事業者における省エネの推進</li> <li>市域のエネルギー使用量削減</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>低公害車の製造による廃棄物の増加</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容に関する意見・要望</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容の見直し</li> </ul>				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	低公害車への補助実績							209台	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 17件(電気自動車15件、燃料電池自動車2件)</li> <li>補助額 3,050,000円</li> </ul>								
令和3年度	取組実績							達成率: 41.8%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施</li> </ul>								
令和3年度	低公害車への補助実績							226台	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 17件(電気自動車13件、燃料電池自動車4件)</li> <li>補助額 3,550,000円</li> </ul>								
	取組実績							達成率: 45.2%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> </ul>								
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	押印制度の見直しを踏まえて、申請書類の大半について押印不要とし、申請手続きの簡素化を図りました。								
課題等	電気自動車のさらなる普及に向け、民間による充電設備の設置促進策について検討します。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベント等の周知が十分に行えなかった中で、可能な範囲で周知啓発を図った結果、目標値には及ばなかったものの一定の成果を残せたことから、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。					
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課の環境評価を支持します。新型コロナウイルス感染症拡大でイベント等での周知は難しかったと思いますが、申請の簡素化を図り、今後の申請につなげられた事を評価します。ウィズコロナのステージに入り、有効な周知の方法などをさらに検討されるよう期待します。					

【令和4年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和3年度実績
市域からの温室効果ガス排出量 (794千t-CO2(令和11年度))	960千t-CO2(R元年度実績)
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。</p>	
<p>○海老名SDGs環境マイレージ事業を通じて、日常における省エネの取組みを促し、市域内における温室効果ガス削減への意識啓発を行いました。</p> <p>○電気自動車用急速充電器(市庁舎、中央公園地下駐車場)を運用することで、電気自動車ユーザーの利便性を高めるとともに、さらなる普及を図りました。</p> <p>○環境保全対策支援事業において、環境基本計画の目標に掲げる設備以外にも、定置用リチウムイオン蓄電池やHEMSの導入補助を行い、市域内の温室効果ガス削減を推進しました。</p> <p>○ウォームビズや省エネ月間の広報記事掲載を通じて、市民への省エネ意識啓発を図りました。</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		2 循環型社会を形成します	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)		569g	
650g (平成28年度)	650g (令和9年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
リサイクル率	3	3	近年のプラ製品等の減容化やレジ袋有料化などによるプラスチック減少により排出量自体が減少傾向にある。
事業系ごみ排出量	2	2	令和3年度中に発生した新型コロナウイルス再拡大が、今までの拡大状況を超えるものであったため、訪問調査等自体を行うことが難しい状況にあった。
市庁舎におけるごみ排出量	2	3	採用された職員が市庁舎のごみゼロについて研修を受けることにより、意識を高めごみの減量化に繋がった。
生ごみ処理機の普及率(補助制度実績)	4	4	当初予算以上の申込があったため、補正予算を2度行い、申請受入確保を実施した。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>コロナ禍の影響でリアルに行う活動は自粛傾向にあり、思うように実施できていない点ではありますが、生ごみ処理機の普及率など、補助金に関連する実績も効果が出ており全体的な改善に繋がっています。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	2	—	a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
リサイクル率				31.4% (H28/2016)	40% (R9/2027)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
分別徹底の周知				40.00%			— 千円		
達成率: 100%									
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
前年度に限らず、近年の資源物軽量化という全国的な情勢に伴い、リサイクル率が伸び悩み傾向にある。既存のリサイクル量の増加も必要であるが、新規リサイクル方策がないかの研究を進めていきたいと考えている。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物の運搬・処理にかかるエネルギーの使用</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>分別に関する問い合わせ</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>分別に関する情報提供</li> </ul>				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。						33.20%		
								達成率: 83%	
令和3年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。						32.30%		
								達成率: 81%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	—								
課題等	新たな資源物の分別処理などの検討								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			昨年度と比較すると割合は減少しているものの、レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考える。ただし、資源物の混入が全くないわけではないため、今後も啓発は継続していく。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課評価を支持します。リサイクル率の向上のため継続的に分別方法を周知していくことは必須とされます。周知方法についてはweb媒体を活用する等、必要に応じて新たな手法を取り入れることも検討する等今後も工夫して取り組んでいただきたいと思います。					

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	2	—	b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
事業系ごみ排出量				8,336t (H28/2016)	5,145 t ( R9/2027 )				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量 (家庭系の可燃・資源)							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
多量排出事業所への訪問指導、一般廃棄物収集運搬業許可業者向けの講習会の開催、食品ロス削減方策の検討、生ごみ処理機補助の事業所普及促進啓発活動				5,245t			千円		
				達成率：98.1%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
事業所ごとに排出されるごみの種類が異なる点から、市主体の事業所向けの統一的な減量化施策は難しいといえる。ごみ処理手数料の改定についても、三市及び高座清掃施設組合と共に考えていかなければならない。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系ごみ処理に関する問い合わせ</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>処理に関する情報提供</li> </ul>					
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
年度	多量排出事業所への訪問指導実施 (30社) 事業者向けのパンフレットの改訂 (9月)							7,749t	
								達成率：66.4%	
年度	多量排出事業者への訪問指導実施 (5社) 事業者向けのパンフレットの改訂 (1月)							8,037t	
								達成率：64.0%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	新型コロナウイルス再拡大に伴い訪問指導を断られるなど状況が生じたため、指導効果があげられなかった。しかし、再拡大による事業活動の停滞がまだ続いていることから、排出量の大幅なリバウンドは見受けられなかった。								
課題等	新型コロナウイルスの状況を踏まえ、指導方法の変更も検討が必要であるとする。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	令和3年度中に、過去最大の新型コロナウイルス感染者が発生した期間もあり、訪問指導などの対面指導対応が困難となったことから、昨年度と比較して、訪問指導数が大幅に減少した。							
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課評価を支持します。コロナにより予定通り訪問指導ができなかったことは、やむを得ない状況と考えます。今後はこうした状況下でも実施可能な方法を検討することを期待します。							

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	2	—	c
担当部	財務部	担当課	財産・車両課	担当係	管財係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
市庁舎におけるごみ排出量				1512.710kg (H30/2018)	1361.439kg (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)年1回				1676.825kg			0 千円		
				達成率: 81.2%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等				1361.439/1676.825 × 100					
研修は新採用職員向けであるため、継続的に取り組む必要があります。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
<ul style="list-style-type: none"> <li>集積場所の環境状況への苦情</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な収集及び美化清掃</li> </ul>					
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度		以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)を年2回実施</li> <li>庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました(資源化率98.2%)。</li> </ul>						1450.72kg	
								達成率: 93.8%	
令和3年度		以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>市庁舎ごみゼロ研修の開催(新採用職員向け)を年1回実施(新採用研修科目として)</li> <li>庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました(資源化率98.3%)。</li> </ul>						1469.94kg	
								達成率: 92.6%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	令和3年度の新採用研修は4月に1回開催されました。								
課題等	職員に広く周知するためにも、新採用研修の中で毎年継続的に取り組む必要があります。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	2: 一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。			前年度と比較し、資源として回収している新聞・書籍の排出量が倍増したことなどにより、わずかながら資源化率は向上したが、ごみ排出量もわずかに増加していったため、目標値達成率が低下してしまった。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			ごみ排出量がわずかに増加し、自課評価が2となっているが、大幅増加ではないところも評価したい。あくまで目標数値上の増加であり、今年度も課全体で同じ意識の中で事業を進めてもらうことを期待する。					

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	2	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
生ごみ処理機の普及率(補助制度実績)				8.9%(H28/2016)	10%		(R11/2029)		
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
生ごみ処理機設置費補助制度				10%			5,201 千円		
				達成率:100%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣への悪臭の発生</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>処理機の使用に伴う苦情</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な使用方法の伝達</li> </ul>				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	広報や自治会回覧での周知のほか、市役所1階での展示会、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示などの取組みを行った。							10% (処理機累計基数/R2.4.1世帯数)	
								達成率:100%	
令和3年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。また、YouTube動画にて生ごみ処理機の啓発を行った。							11.9% (処理機累計基数/R2.4.1世帯数)	
								達成率:119%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	新型コロナウイルス感染症の拡大が継続するなかで、展示会等の開催が中止となっている現状において、新たな啓発手法としてYouTube啓発の取組を開始した。								
課題等	YouTube啓発の手法を検討 その他新型コロナウイルス感染症の継続状況に合わせた啓発活動の在り方を検討								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課 環境評価	4:計画を上回る環境配慮を実施できた。			継続的な啓発とともに、YouTube動画などの新たな啓発手法も取り入れて、普及促進に取り組んだ。 また、補助金申請が増えたため、補正予算対応を行い、申込受入の拡大を図った。					
内部環境評価	4:計画を上回る環境配慮を実施できた。			担当部課評価を支持します。 継続的な周知・啓発に取り組むことにより、さらなる補助制度の利用増加に期待します。					

【令和4年度評価】目標指標関連事業取り組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和3年度実績
一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源） （650g（令和9年度））	569g
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）については、補助金活用の申込が多数寄せられたため、補正予算を行い、当初の補助予定件数よりも事業を拡大して実施した。</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		3 緑・水・生きものと共生します	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))	28.71%	
48.2% (平成30年度)	50.0% (令和11年度)		
生き物とのふれあいに対する意識 (環境アンケート: 地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)			
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
自然緑地保全区域面積・樹木数	2	2	開発等による緑地の減少を防止し、良好な環境の形成に寄与しました。
緑化に関する情報の発信回数	3	3	様々な施策を市民に広く周知することで、身近な緑について考える時間を増やしてもらいました。
生物多様性に関する情報の発信回数	4	4	えびな生きもの大調査を行うなど、想定以上の啓発ができ、多くの市民に向けて情報が発信できたと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>えびな生きもの大調査は、大変良い活動であり、特定外来生物のHPでの周知も良い活動です。          また、自然緑地保全区域の面積・樹木数の活動では、高齢化、相続などで指定解除相談が増加していることは事実です。その内容を分析し、対応策の検討をどのように行ったかといったフォロー活動が重要と考えます。          上記の点から、総合的に3と評価します。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	3	—	a
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
自然緑地保全区域面積・樹木数				150626.16㎡/193本 (R1/2019)	150000.00㎡/193本 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します							
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
多様な機能を有する緑の保全のため、自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木を指定し、奨励金の交付を実施				145,000.00㎡/190本			6,893 千円		
				達成率：97.5%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
樹木の所有者や樹木自体が高齢化していることから、維持管理が困難になり、枯死・滅失が増加している。また、ほとんどの緑地や樹木が指定されているため、新規の指定が困難である。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源の保護</li> <li>温室効果ガス吸収作用の保全創造</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の日照時間の減少</li> <li>落葉等のゴミの増加</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木からの落葉による苦情</li> <li>樹木を剪定伐採したことによる景観上の苦情</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境と景観に配慮した管理方法の周知</li> </ul>				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域 97件 5,422,865円 ・自然緑地保存樹木 179件 714,000円 ・保存生垣 34件 235,600円							143,979.36/150,000	
								186/193本	
								達成率：96%	
令和3年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域 92件 5,284,735円 ・自然緑地保存樹木 171件 682,000円 ・保存生垣 30件 198,600円							143,776.36/150,000	
								175/193本	
								達成率：94%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし。								
課題等	区域や樹木の所有者の高齢化により、相続による売却や管理困難のによる指定解除の相談が増加した。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。			近年、上記課題等のおり、指定解除の相談が増えており、今年度についても保全区域・保存樹木ともに指定解除をしたため。					
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。			担当部課環境評価の内容を支持します。今後も指定解除の件数は増加することが予想され、目標達成が困難な点も理解できません。指標や目標値の設定も再検討が必要と考えられます。					

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	3	—	b
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
緑化に関する情報の発信回数				2回 (R1/2019)	3回 ( R11/2029 )				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します							
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識 (環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
花と緑の写真コンクール、緑化ポスターコンクール、さつき展等の事業に関する情報を広報等に掲載				3回			0 千円		
				達成率：100%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
事業が実施されない場合に情報発信を行うことが出来なくなるため、事業に関すること以外の情報の発信を検討する必要がある。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・緑を保全・育成する意識の向上					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・緑化手法に関する問い合わせ					・適切な緑化手法の周知 ・緑化に係る補助制度の情報提供				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	例年、小中学生に対して夏休みの宿題として「花と緑の写真コンクール」及び「緑化ポスターコンクール」を行っていたが、コロナ禍であったため実施をしなかった。さつき展等のイベントにおいてはコロナ禍であるため開催を見送った。							—	
								達成率：—%	
令和3年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、その他、HPにて緑化に係る発信を行った。なお、「花と緑の写真コンクール」及び「さつき展」は開催しなかった。							3	
								達成率：100%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	緑化ポスターコンクールを規模縮小して開催した。								
課題等	特になし。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			コロナ禍で開催がなくなる事業がある中、「緑化ポスターコンクール」を行うことができ、目標を達成できたため。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価を支持します。コロナ禍において、開催できなかった事業がある中、目標を達成したことを評価します。					

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	3	—	c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
生物多様性に関する情報の発信回数				3回 (R1/2019)	6回 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します							
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識 (環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページによる情報の発信</li> <li>窓口でのチラシの配架</li> </ul>				4回			0 千円		
達成率： 66.6%									
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
生物多様性の周知にあたっては、市内における動植物の生息状況の把握が必要不可欠です。こうした課題の解決に向けて、令和3年度では市内での生き物調査の実施により、生息情報の蓄積に努めていきます。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性を保全する意識の向上</li> </ul>					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の保全手法に関する問い合わせ</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な生物多様性の保全手法の周知</li> </ul>				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定外来生物（ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク）に関する周知をホームページで実施しました。</li> <li>市内の生物調査の実施に向けた調査研究を行いました。</li> </ul>							3回	
達成率： 50 %									
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定外来生物（ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク）に関する周知をホームページで実施しました。</li> <li>「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に231名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。</li> </ul>							4回	
達成率： 66.6 %									
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	新たな取組みとして、えびな生き物大調査を実施しました。								
課題等	えびな生き物大調査への参加者をさらに増やしていくための手法について研究を進めます。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	今年度から開始したえびな生き物大調査について、多くの参加をいただき、エントランスホールへの展示や、調査報告書の学校への配布等、当初予定以上の普及啓発が実施できたため、計画を上回る環境配慮を実施できたと判断します。							
内部環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。生物多様性を周知するため、生き物調査は有効な手段であると評価します。今後は、さらに参加者を増やし、生物多様性を保全する意識の普及啓発に努めてください。							

【令和4年度評価】目標指標関連事業取り組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和3年度実績
生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合） 50.0%（令和11年度）	28.7%
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取り組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に231名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。</p> <p>○市民が市内生物たちと楽しく安全に触れ合えるよう（主に河川）、水質の汚濁に日頃から気を配り、触れ合いやすい環境づくりに取り組みました。</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		1 水環境を守ります	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
河川水質環境基準達成状況		問題なし	
問題なし (平成30年度)	問題なし (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
水洗化率	4	4	衛生環境、水質保全に寄与した。
公共下水道の普及率	3	3	衛生環境、水質保全に寄与した。
水循環に関する情報の発信回数	3	3	計画通りに市民に対して情報発信ができたと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>目標指標である河川水質環境基準達成状況を、大気環境基準値達成状況と同様に環境管理計画・環境評価書に落とし込むことを推奨します。</p> <p>また、水洗化率、公共下水道の普及率については、問題ないと思います。</p> <p>なお、水環境に関する情報発信は回数だけでなく、水質事故があったことに対する注意喚起等、内容についても見直しが必要と思います。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 — 1 — a
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	業務係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
水洗化率			98.2% (H30/2018)	100%	( R11/2029 )
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-1 水環境を守ります			
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な水洗化手法の周知</li> <li>水洗化に係る補助制度の情報提供</li> </ul>			98.4% (0.2%増)	3,724 千円	
			達成率：98.4%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
コロナによる影響によりイベント等が中止になったことで事業周知の機会が少なくなった。これに代わる方法の検討が必要。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>水質保全</li> <li>生活環境の改善</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化工事による廃棄物の増加</li> </ul>		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化手続に関する問い合わせ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な水洗化手法の周知</li> <li>水洗化に係る補助制度の情報提供</li> </ul>		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値達成実績
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水洗便所改造等助成金の交付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数 36件</li> <li>・助成金 1,080,000円 (一人あたり30,000円)</li> </ul> </li> <li>○取組実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの配布</li> <li>・ホームページへ掲載</li> </ul> </li> </ul>				98.3%
					達成率：98.3%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水洗便所改造等助成金の交付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・件数 20件</li> <li>・助成金 600,000円 (一人あたり30,000円)</li> </ul> </li> <li>○取組実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの配布</li> <li>・ホームページへ掲載</li> </ul> </li> </ul>				98.4%
					達成率：98.4%
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	3年の助成期限を設けているため、対象者への定期的な周知を行う必要がある。周知方法の見直しを検討する。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	排水設備設置申請者へ助成についての説明を行い、取組への評価につながったと判断します。			
内部環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。コロナ禍においても着実に進捗実績を上げた点は評価できます。引き続き事業の進捗を期待します。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 — 1 — b
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	管路施設係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
公共下水道の普及率			95.9% (H30/2018)	100% (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-1 水環境を守ります			
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
・迅速な工事の実施			96.2% (0.3%増)	309,407 千円	
			達成率：96.2%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
なし					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・水質保全 ・生活環境の改善			・下水道工事による廃棄物の増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・下水道工事に関する苦情			・迅速な工事の実施 ・工事内容の丁寧な説明		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	○取組実績 ・市街化区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 ・市街化調整区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 ・公共下水道污水樹設置の申し出に基づく、設置工事 ・公共下水道污水管渠整備を実施するための詳細設計委託			96.2%	
				達成率：96.2%	
令和3年度	○取組実績 ・市街化区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 ・市街化調整区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 ・公共下水道污水樹設置の申し出に基づく、設置工事			96.2%	
				達成率：96.2%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	下水道整備についての住民理解のため、丁寧な説明、更なる下水道PRが必要である。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課 環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	目標値は横這いではあるが、下水道PRの広報掲載等を実施し、概ね環境への配慮は達成できたと判断します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 目標値達成実績は令和2年度と同数であるが、工事を引き続き実施し、下水道PR等も実施していることから、概ね計画通り実施できていると評価します。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2	—	1	—	c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
水循環に関する情報の発信回数				1回 (R1/2019)	3回 ( R11/2029 )				
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します							
	施策の方針	2-1 水環境を守ります							
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
河川の水質調査結果について、広報えびな等にて情報発信				2回			1,658 千円		
				達成率： 50%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
市内の水環境のさらなる周知を図るためには、河川ごとの特性を十分に理解することが重要であるため、今後はこうした情報の習得整理に努める必要があります。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・ 水環境の保全意識の向上					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・ 水環境の保全手法に関する問い合わせ					・ 適切な水環境の保全手法の周知				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の水質調査結果を広報えびなに掲載し、市内の水質状況の周知を図りました。</li> <li>市が参加している「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に市内河川の水質状況を掲載し周知を図りました。</li> </ul>							2回	
								達成率：50%	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。</li> <li>「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。</li> </ul>							2回	
								達成率：50%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし。								
課題等	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌以外での周知方法の検討。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌での情報発信を実施できたため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。河川の水質改善に向けたさらなる取り組みを期待します。							

【令和4年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和3年度実績
河川水質環境基準達成状況 （問題なし（令和11年度））	問題なし
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった際は迅速かつ正確に対応をしている。特に油が河川に流入し油膜が流れている時は、オイルフェンスを設置することで下流への影響を抑え、塞き止めた油はオイルマットを用いて吸着作業をしている。</p> <p>○現場へ出て河川の近くを通るときは、河川の臭気や水が濁っていないかを確認し、異常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念している。</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		2 生活環境を守ります	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
公害・環境に関する相談件数		50件	
64件 (平成30年度)	50件 (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
大気質環境基準達成状況	3	3	日々適切な業務を行い環境基準達成を維持することで、目標を達成できたと考えます。
コミュニティバス利用者数	3	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値は下回りましたが、事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮に寄与したと考えます。
騒音に関する相談件数	3	3	相談ごとに迅速な対応を行い、問題解決に向けて適切に取組みました。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>市内21箇所で実施している窒素酸化物簡易測定調査、コミュニティバスの運行も継続し、コロナ禍ではありますが、目標値80%を維持できています。</p> <p>また、騒音の苦情に関しては、目標値15件以下に対し、8件に抑え目標を大幅に達成しました。野焼きの苦情削減にも積極的に周知に努め効果を出しています。</p> <p>よって、全体的には概ね計画通りと判断します。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
大気環境基準達成状況			達成 (H30/2018)	達成 ( R11/2029 )	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
市内21箇所で開催している窒素酸化物簡易測定調査			基準値達成	749 千円	
			達成率: - %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
これまで単発的に測定結果を管理していましたが、今後は継続的にデータ記入を行い、数値の変動を記録し管理していくことを検討していきたいと考えます。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・空気汚染に関する公害苦情			・迅速な現場対応 ・環境基準等の丁寧な説明		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。</li> <li>・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数37件）。</li> <li>・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数0件）。</li> </ul>			基準値達成	
				達成率: - %	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。</li> <li>・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数27件）。</li> <li>・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数3件）。</li> </ul>			基準値達成	
				達成率: - %	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし。				
課題等	県の条例で例外的に認められている屋外焼却行為に対しても苦情が一定数あり、苦情者に理解を得ることが難しい。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課 環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	市内21箇所で開催した窒素酸化物簡易測定調査を行いました。また、大気汚染（屋外燃焼行為等）等に対する苦情相談を受け、迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。環境測定や、大気汚染等に対する相談対応が適切に行われていることを評価します。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 — 2 — b
担当部	まちづくり部	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
コミュニティバス利用者数			257,237人 (H30/2018)	259,150人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
公共交通不便地域に対してコミュニティバスを運行する。また、利用状況等を市HPや車内等において周知を図る。			180,000人	56,115 千円	
			達成率：69.4%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
特に無し					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・自動車からの利用転換による排気ガスの抑制			・排気ガスの排出 ・ガソリンの使用		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・コミュニティバスの運行状況に関する問い合わせ・苦情			・適切な運行状況の説明		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○ 市HP等情報発信回数：12回			175,266	達成率：67.6%
令和3年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○ 市HP等情報発信回数：12回			205,195	
					達成率：79.2%
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特に無し				
課題等	特に無し				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	本年度においては、いわゆるコロナ禍により利用者が減少しました。しかしながら、事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮がなされたと考えます。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。コロナ禍で外出制限が生じている状況下ではありますが、コミュニティバス利用促進の啓発活動により、目標達成とまではいかないものの、昨年度よりも利用者が増加しています。引き続き目標達成に向けて周知活動を行っていただき、排気ガス抑制等による環境配慮に努めていただきたいと思います。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
騒音に関する相談件数			22件 (H30/2018)	22件 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
事業所から発せられる騒音苦情相談に伴う相談者への聞き取り及び事業所への指導			15件	0 千円	
			達成率: - %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
騒音規制法に基づく届出書の提出遅延が少なからず見受けられたため、事業所に対する届出期限の周知を検討していきたいと思っております。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・騒音に関する公害苦情			・迅速な現場対応 ・騒音基準等の丁寧な説明		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	市民からの相談を詳細に聞き取り、騒音規制法に基づき現場対応を行いました。また、適切に届出がされているかの確認及び、騒音規制法に基づく指導を実施しました。			17件	
				達成率: - %	
令和3年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。			8件	
				達成率: - %	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし。				
課題等	規制基準以下の音であっても、騒音と感じる音の大きさは人によって異なるため苦情に繋がる事が多く、課として対応に苦慮する場合があります。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	騒音苦情を受け迅速に現場対応を行い、苦情者の不安要素解消のために日々職務に邁進したため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。騒音については、個々の感覚により異なるものと思われませんが、市民の日常生活にも影響が大きいので、臨機応変に現場対応するよう努めてください。			

【令和4年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和3年度実績
公害・環境に関する相談件数 （50件（令和11年度））	50件
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○屋外焼却行為（野焼き）の苦情件数が多く、苦情の中には条例で例外として認められている農家による屋外焼却行為も多く含まれている。                      近年海老名市は人口が少しずつ増加しており、屋外焼却行為の存在を知らずに転居してくる人も多いため、条例で例外的に認められていると説明しても苦情を申し立てる人も一定数存在する。                      そこで、両者が気を使いつつも円満に日常生活を営んでもらうため、農協を通じて農家に対し屋外焼却行為の注意喚起回覧を令和2年度から回している。この回覧を回したことで、令和2年度に比べて令和3年度の屋外焼却行為の苦情件数が減少した。                      回覧により一定の効果を得られたものとする。</p> <p>○過去に苦情を受けた現場付近を通るときは、時間があれば気にかけて見るようにしている。そうすることで、苦情再発の可能性の有無を確認できたり、再度苦情申立てがあっても苦情者との話しの相違を減らすことができる。</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		1 都市環境を整備します	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
これからも海老名市に住みたいか (市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住みたいと回答した人の割合)		93.90%	
90.3% (令和元年度)	90.3% (令和11年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
道路整備への満足度 (市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)	3	3	幹線道路・準幹線道路及び生活道路を計画的に整備していることから、満足度の向上に寄与したと考えます。
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	3	3	日数に変化はないが、個別の通報に対応して、張り込みなどの対応を行った。
えびなクリーン作戦参加者累計数	2	2	新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえて、今後のイベント対応を考えたい。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>道路整備の満足度、路上喫煙巡回日数など、1年間の努力が実っています。                  また、えびなクリーン作戦は昨年度もコロナで事業中止であり、今年度もコロナの影響は考えられたと考えられるため、何らかの検討が必要だったと思います。                  上記の点から、総合的には3と評価します。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 1 — a
担当部	まちづくり部	担当課	道路整備課	担当係	幹線道路係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)			34.3%(R1/2019)	35.1% (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート:ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への達成見込		予算額	
道路環境の整備によって、渋滞の解消と、近隣住民の住環境の向上を図る。		34.5%		1,156,800 千円	
		達成率: 98.3 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
競合工事の遅れにより当初工期の延期をしたことで、道路工事の騒音や交通規制による渋滞が長期化し、周辺住民の住環境への影響が長引いた。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞解消による排気ガスの抑制</li> <li>・路面舗装による粉塵、砂埃の抑制</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路工事による廃棄物の増加</li> </ul>		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路工事に関する苦情</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な工事の実施</li> <li>・工事内容の丁寧な説明</li> </ul>		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値達成実績
令和2年度	幹線・準幹線道路および生活道路の整備を行い、渋滞の解消による排気ガスの抑制、路面舗装による粉塵・砂埃の抑制、近隣住民の住環境の向上を図った。 ・工事件数 16件 ・工事総延長 1859m				達成率: %
令和3年度	幹線・準幹線道路及び生活道路の整備を行い、自動車の走行速度向上させ、自動車からの排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 又、工事で使用する建設機械について、機械施工が大気環境に与える負担の低減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・工事件数 5件 ・工事完成延長 600m				41.5% 達成率: 120.3%
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし。				
課題等	特になし。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断します。 今後も幹線道路・準幹線道路及び生活道路の整備により道路ネットワークを充実させ、近隣住民の住環境の向上に取り組めます。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。市政アンケート結果から市民の道路整備への満足度が高いことがうかがえます。今後も引き続き、迅速な工事の実施や環境に配慮した建設機械の使用などにより、住環境の向上に努めていただくようお願いします。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数			292日 (H30/2018)	292日 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート: ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
美化推進員による公共的な場所(歩道など)の清掃活動および巡回、注意啓発			291日	1,963 千円	
			達成率: 99.7%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・景観の向上			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・ポイ捨て等に関する苦情			・巡回時の周知啓発の徹底		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	予定通りの日程で巡回を行った。巡回指導により指導件数が減少した。 令和2年度合計: 38件 令和元年度合計: 126件			293日	
				達成率: 100%	
令和3年度	予定通りの日程で巡回を行った。通報を受けての張り込みなど指導方法を工夫したため、指導件数が増加した。 令和3年度合計: 155件 令和2年度合計: 38件			292日	
				達成率: 100%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	—				
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い喫煙所内での密集を嫌う喫煙者が、喫煙所外で喫煙するケースが増えてきており、細かく指導を実施する必要がある。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	巡回日数は大きく変わりはないものの、市民通報に対する個別対応を増やし、柔軟な指導対応に努めた。			
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。コロナ禍においても、巡回日数の目標値を達成し、市民通報に対する個別対応や、柔軟な指導対応に努められたことは評価できます。ポイ捨ての発生件数が減らせるように、今後も引き続き指導方法を工夫していただくようお願いいたします。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
えびなクリーン作戦参加者累計数			4,800人 (R1/2019)	5,000人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート:ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
年に一度、一斉美化活動を主催する			4,900人 (H31までの累計。令和2年度中止)	— 千円	
			達成率: 98%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、事業実施についてどのように進めていくかを考える必要がある。ただし、ごみを集めるために人が集結したり、ごみ自体に感染のリスクがあることも踏まえて、実施の検討を行う必要がある。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・実施方法に関する相談・要望			・綿密な事前調整		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い事業中止			中止	
				達成率: 0%	
令和3年度	新型コロナウイルス感染症再拡大に伴い事業中止			中止	
				達成率: 0%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	—				
課題等	新型コロナウイルスが継続している現状において、どのようにイベントを開催していくかを検討する必要がある。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課 環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	令和3年度中に、過去最大の新型コロナウイルス感染者が発生した期間もあり、昨年度に引き続きイベント開催を中止した。きれいなまちづくり事業など、個別団体ごとの清掃活動促進には努めているものの、市主催のイベント開催方法について、検討する必要があると考える。			
内部環境評価	2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。課題にあげられているように、コロナ禍でも実施可能なイベント開催方法や代替事業について検討していただくことを期待します。個別団体の清掃促進活動については、実施を継続していただけるように、引き続き取り組みをお願いします。			

【令和4年度評価】目標指標関連事業取り組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 （目標値（年度））	令和3年度実績
これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば済みたいと回答した人の割合） （90.0%（令和11年度））	93.9%
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取り組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○新型コロナウイルス感染症拡大により一時は喫煙者自体が減っていたものの、最近では慣れもあり、喫煙者自体が増加し、市の喫煙所からはみ出している喫煙者が増加したことから、指導を強化。特定の時間帯における張り込みなどの対応により以前よりも指導効果を高めるよう努めた。</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		2 農業地を守ります	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
農地面積		509ha	
526ha (平成30年度)	526ha (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
農作業受委託面積	4	4	農業や農業従事者及び農作物に対する理解の促進に寄与した。
市民農園利用者数	3	3	農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の減少に寄与した。
農業体験イベント参加者数	3	3	農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の減少に寄与した。
外部評価			
4	計画を上回る環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>農業用地を守るため営農組合農作業受託が、目標の109%達成となっていることを評価します。農地の保全に貢献していると思います。</p> <p>また、農地面積の農地から事業用地や住宅地に転用は、農地所有者の意向によるところも大きいと思います。目標値は現実的な、農地の保護・維持するための目標への見直しをされてはいかがでしょうか。</p> <p>なお、新規就農支援、支援センターの活動項目の目標設定も検討して下さい。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 2 — a	
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
農作業受委託面積				32ha (H30/2018)	32ha (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます				
	施策の方針	3-2 農業地を守ります				
	関連する目標指標	農地面積				
令和3年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額	
市内営農組合による水稲作における稲刈り等の受託作業			32ha		1,469 千円	
			達成率： 100 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
南部ライスセンター内の農業用機械の破損等が見受けられ、毎年一定の費用を要している。						
令和3年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・ 農地の荒廃の抑制			・ 作業に伴う廃棄物の排出 ・ 車両の使用による排気ガスの排出			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・ 農作業受委託に関する相談			・ 円滑な農作業受委託に向けた指導			
令和3年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値達成実績	
令和2年度	中部営農組合、南部営農組合及び南部農業拠点施設による稲刈り、乾燥糶摺り等の水稲作作業の受託。				32ha	
					達成率： 100 %	
令和3年度	農地が荒廃することを抑制するための手法の一つとして市内営農組合が農作業を受託され、事業を実施している。中部営農組合、南部営農組合及び南部農業拠点施設による稲刈り、乾燥糶摺り等の水稲作作業の受託。				35ha	
					達成率： 109 %	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし					
課題等	今年度においても南部ライスセンター内の農業用機械の破損や消耗が激しく、保守点検や修理費用が必要となっており、計画的な機械等の入れ替えが必要と思われる。					
令和3年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	受託作業面積を毎年度増やすことは営農組合農作業従事者の高齢化によりなかなか困難であると思われるが、今年度は目標値以上に取り組んでいることから判断した。				
内部環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 委託事業は順調に進んでいるが、南部ライスセンターの農業用機械の破損や消耗が激しいとのことなので維持管理について計画的に運用し、良好な施設環境維持に努めていきたい。				

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3	—	2	—	b
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
市民農園利用者数				479人 (R1/2019)	580人 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます							
	施策の方針	3-2 農業地を守ります							
	関連する目標指標	農地面積							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
地権者から借りた畑又は市所有の畑を市内在住者に廉価で貸し出す。				500人			4,671 千円		
				達成率： 86.2%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
利用者の多くが高齢者のため、ホームページによる情報提供には限界がある。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・遊休農地、耕作放棄地の減少					・市民農園整備にかかる廃棄物の増加				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・市民農園利用者のマナー違反による苦情					・迅速な現場対応				
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。							499人	
								達成率：100.8%	
令和3年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行い、利用者減を予防した。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。							514人	
								達成率：88.6%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	特になし								
課題等	利用者の多くが高齢者であり、ホームページによる情報提供には限界があるため、紙媒体での通知や掲示物が増えてしまった。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	事業の性質上、紙媒体の通知・掲示物の量は横ばいであったが、ホームページの内容・更新頻度を充実させるなどした環境に配慮した手法で利用率の増加を図っていった。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。政策方針の維持のためには、苦情対応ほか様々な対応があると思いますが、利用者増を図るためホームページを活用するなど環境に配慮した対応ができています。対象者の特徴をとらえた周知方法について、今後も工夫して取り組んでいただきたい。							

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3	—	2	—	c
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	地産地消推進係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
農業体験イベント参加者数				2,700人 (R1/2019)	3,000人 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしき”を守り、育み、将来に引き継ぎます							
	施策の方針	3-2 農業地を守ります							
	関連する目標指標	農地面積							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
トマト、梨等のもぎ取り及びラッカセイ、さつまいも等の掘り取りを実施します。				2,400人			502千円		
				達成率：80%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
中止の際に市民の方への周知（ホームページ、市SNS等）には限度がある。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
<ul style="list-style-type: none"> <li>農業に対する理解の促進</li> <li>地域の農業従事者・農作物に対する理解の促進</li> </ul>				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント実施に関する問い合わせ</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧なイベント内容の周知</li> </ul>					
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラッカセイの掘り取り 令和2年9月27日（日）9：00～11：00 中新田地区 300人参加</li> <li>さつまいもの掘り取り 令和2年10月18日（日）9：00～11：30 大谷地区 350人参加</li> </ul>							650人	
								達成率：21.7%	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>さつまいもの掘り取り 令和3年10月24日（日）9：00～11：30 大谷地区 1,000人参加</li> </ul>							1,000人	
								達成率：33.3%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	圃場の混雑状況を見ながら入場に時間差をつけて実施した。								
課題等	新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用や一定間隔を保つよう参加者へ呼びかけ、開始前に検温及び手指消毒、連絡先の確認（任意）を行ったが、大きな混乱は生じなかった。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	「トマトのもぎ取り」、「梨のもぎ取り」及び「ラッカセイの掘り取り」は、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、実施は難しいと判断し中止したが、実施に向けて定植・栽培管理を行っていた。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。新型コロナウイルス感染症予防のためイベントが思うように実施できない中、政策方針に基づき事業を進めている。また実施にあたり参加者への配慮も徹底されている。今後も、継続して事業に取り組んでいただきたい。							

【令和4年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和3年度実績
農地面積 (526ha(令和11年度))	509ha
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績(なるべく定量的に)、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価(海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価)における参考資料とします。</p>	
<p>①有害鳥獣捕獲等業務委託事業 有害鳥獣による生活環境及び農業被害を防ぎ、市民生活の安定を図る為、アライグマとハクビシンを対象に捕獲及び駆除する業務を委託事業として実施している。 今後も捕獲及び駆除の必要性は続くものと思われ、継続して取り組んでいきたい。 依頼件数・・・65件 駆除頭数・・・38頭</p> <p>②農機具貸し出し事業 農業従事者の農業用機械取得の負担軽減を図る目的で、市で所有している農業用機械(トラクタ、田植機、水稲コンバイン、汎用コンバイン)の貸出しを有料で行っている。今後も事業を継続していきたい。 利用農業者・・・延べ84名 利用日数・・・延べ112日</p> <p>③用排水路等維持管理委託事業 農業用水通水前をはじめ、市内の農業用排水路の浚渫及び草刈等の維持管理を各地区の生産組合に委託し行っている。 委託期間・・・4月1日～2月28日 委託金額・・・19生産組合計5,192,000円</p> <p>④海老名市農業振興対策事業 農畜産業の経営の安定と発展を図るため、その事業を行うものに対し、予算の範囲内で補助金を交付している。その中でも農用地営農事業及び農用地利用集積事業については、農用地内において営農を行う農業者等に対して、申請に基づき補助金を交付しています。 令和3年度実績 交付決定件数・・・359件 補助金額・・・15,118,100円</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		3 地域資源を守ります	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
74.9% (平成30年度)	75.0% (令和11年度)	59.25%	
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	3	3	史跡相模国分寺跡指定100周年記念展示を実施し、市内・市外の方へ相模国分寺跡をアピールすることができた。
歴史関連イベント・講座参加者数	3	3	令和2年度に実施できなかった講演会やVR体験会を実施することができ、郷土の歴史についてより身近に体験してもらう場をつくることができた。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>個別指標の3-3-a郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数は達成率70%、3-3-b歴史関連イベント・講座参加者数は達成率67%でした。しかし、目標指標の自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合）は達成率59.25%であり、様々な施策を展開しているのは理解で来ます。目標指標に対する達成率においては大きく未達であるが、ヒアリングから施策の展開度合いを考慮し上記の評価とします。</p> <p>今後、コロナ禍前提の目標指標を設定し、目標指標の妥当性を検討していただきたいです。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 3 — a
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数			11,176人 (H30/2018)	11,500人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります			
	関連する目標指標	自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合）			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額
温故館では企画展等を開催する。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料を増やし、公開する。 ※但し新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4、5月は休館。			5200人		21,413 千円
			達成率：45%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
新型コロナウイルス感染症の拡大予防のための除菌・消毒に伴う消毒液、ペーパータオルの利用が増えている。展示内容や資料公開について、WEB上で行うなどの工夫についても検討を要する。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・市の歴史に関する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・施設運営に関する問い合わせ・苦情			・適切な施設運営の実施		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	温故館では、企画展「えびなの観音さま」や相模国分寺跡指定100周年記念事業の展示を実施。民具の動画配信も行った。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料の公開に向けた業務を実施。			4,771人	
				達成率：41%	
令和3年度	約1年を通して相模国分寺跡指定100周年記念展示を実施。また、館内でVR視聴ができるよう機材を設置（まん延防止措置等発令中は不可）。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料の公開に向けた業務を実施。			8,142人	
				達成率：70%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	温故館内でVR体験ができるよう機材を設置した。VR体験の機材は1台しかないため、不織布のフェイスカバーをつける、消毒をするなどして新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めた。				
課題等	web上で公開する動画について、作成に時間がかかるため、いろいろなバージョンを作成することが難しい。より工夫が必要である。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	webで公開する動画について、現在公開しているもの以外にも作成・公開を行ってほしい。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業では苦労されていると思うが、いろいろな案や工夫を重ね、少しでも良い形として根付くよう事業を進めていってもらいたい。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3	—	3	—	b
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
歴史関連イベント・講座参加者数				319人 (H30/2018)	456人 (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます							
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります							
	関連する目標指標	自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合）							
令和3年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
文化財講演会を開催する。 相模国分寺跡史跡指定100周年記念事業を実施する。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験講座等の事業は中止。				150人			1,199 千円		
				達成率： 32%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、一部事業の中止をせざる得なかった。 日々状況が変化する中で、市民等不特定多数が集まる事業の実施方法・開催方法について検討が必要。									
令和3年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・市の歴史に関する理解の促進				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・イベント実施に関する問い合わせ				・丁寧なイベント内容の周知					
令和3年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
年度	文化財講演会及び文化財ガイドを実施。また、奈良時代の相模国分寺を復元したCG動画を公開した。 相模国分寺跡指定100周年記念講演会・VR体験等は中止とした。							167人	
令和2年度								達成率： 37%	
年度	相模国分寺跡指定100周年記念事業として、講演会及び文化財ガイドを実施。また、奈良時代の相模国分寺を復元したVR体験会を実施した。 まが玉作り、矢じり作り等の体験講座は中止とした。							306人	
令和3年度								達成率： 67%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	講演会を会場のみだけでなくオンラインでも実施し、自宅等からでも講演会に参加してもらえるようにしたことで、より多くの方に参加してもらうことができた。								
課題等	オンライン講演会を行う設備について、対応できる場所や機材が限られており、より工夫が必要である。また、参加者側の問題について当日対応することが難しい。								
令和3年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			令和2年度に中止とした事業を実施することができ、また講演会のオンライン配信やVR体験会での整理券の配布などの工夫を行うことで、より安全に不特定多数が集まる事業も概ね計画通りに実施することができた。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			事業実施に向け工夫したことが、成果として出た年でもあったと思われる。改善点を見直し、今年度は更に充実した事業の遂行を目指していてもらいたい。					

【令和4年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和3年度実績
自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの 自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合） （75.0%（令和11年度））	59.3%
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○景観条例や住みよいまちづくり条例に基づいて、民間等による開発・建築行為における良質な景観の維持・保全を図りました。</p> <p>○11月6日に市政施行50周年記念・相模国分寺跡史跡100周年記念行事である、「VRでタイムワープ奈良時代の相模国分寺 体験会」を教育部門主催で実施しました。                      臨場感あふれるVRに、「来てよかった、素晴らしい」との感想を多くいただきました。同日開催の文化財ガイド「史跡相模国分寺跡指定100周年記念事業・相模国分寺を巡る」の後にVR体験に来られた方もみられました。</p> <p>○11月13日に史跡相模国分寺跡指定100周年記念講演会を教育部門主催で実施しました。初めて講師・受講者とも会場とオンラインを併用したハイブリッド方式の講演会を実施し、合計114名が参加しました。                      講演の内容としても、100周年記念にふさわしい中身の濃いものであり、受講者からも知識が深まった等の感想が寄せられました。</p>	

令和3年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
4 みんなでえびなの環境を考え、行動します		1 環境を考え、行動します	
目標指標		令和3年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
環境への関心度 (環境アンケート: 以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)		61.76%	
43.5% (平成30年度)	48.0% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
環境関連情報発信回数	3	3	新規事業の情報発信も行い、環境に関する発信回数の増加で市民に対し環境問題の普及啓発ができたと考えます。
啓発・出前講座参加者数	3	3	新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえて、今後のイベント対応を考えたい。
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	3	3	きれいなまちづくり事業をきっかけに、個人一人ひとりがきれいなまちを作る活動ができる方法を啓発している。
海老名市地域緑化事業への登録団体数	4	4	前年度から登録団体が1団体増えたことで、市民に対する緑化への関心を更に広げることができた。
外部評価			
4	計画を上回る環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>広報えびなでの省エネ月間記事や「生きもの大調査」「えびなSDGs環境マイレージ」の情報発信など、新たな取り組みに進化がありました。</p> <p>出前講座の代わりにYouTube動画発信など工夫がみられました。さらにその効果を把握すると良いと思います。</p> <p>また、美化活動奨励金の団体登録を控える団体がありましたが、個別団体の実情に合った袋配布などの工夫で事業を進められたと思います。</p> <p>地域緑化事業の団体登録では、前年度よりは増えましたが、2019年度よりは減少しており、コロナ禍とはいえ内容の分析、検討、対策が必要と考えます。前年度の課題の「特になし」に対しては、更なる改善姿勢が望まれます。</p> <p>上記の点から、総合的に4と評価します。</p>			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
環境関連情報発信回数			5回 (H30/2018)	8回 ( R11/2029 )	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度 (環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・光化学スモッグ及びアйдリングストップ等の環境関連情報を広報えびな等にて発信</li> <li>・環境啓発イベントを通じた環境情報の発信</li> </ul>			6回	— 千円	
			達成率： 75%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
コロナウイルスの影響によりイベントが中止となり、十分な環境啓発ができなかったことから、集客型のイベントから転換した啓発手法を検討する必要があります。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題に対する理解の促進</li> </ul>			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境情報に関する問い合わせ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な環境情報周知の徹底</li> </ul>		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報えびなで光化学スモッグによる注意喚起やアйдリングストップの励行に関する記事を掲載しました。</li> </ul>			3回	達成率： 37.5%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。</li> <li>・「生きもの大調査」や「えびなSDGs環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。</li> </ul>			6回	
					達成率： 75%
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載し、また、生きもの大調査やえびなSDGs環境マイレージについての情報発信を行いました。				
課題等	目標値達成のための、情報発信回数増加の検討。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新たな情報発信を行い環境に関する発信回数が増えたことにより、市民の環境問題に対する理解の促進が図られたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。新たな内容の情報発信を行うことにより、市民の環境問題への理解が図られたと判断します。さらなる情報発信に期待します。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)
啓発・出前講座参加者数				645人 (H30/2018)	710人 ( R11/2029 )
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
小学校や事業所、集合住宅へ赴き、ごみの分別方法等の出前講座を行う			不明	千円	
達成率： %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人が集まる形での啓発、出前授業の開催が難しくなっており、新しい啓発や情報発信方法の検討を考える必要がある。					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・環境問題に対する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・講座等実施に関する問い合わせ			・丁寧な講座等内容の周知		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値達成実績
令和2年度	要望に応じて2回の出前講座を開催した。 7月：中新田連合自治会 8月：今泉小学校				151名
達成率：21.3%					
令和3年度	開催なし				0
達成率：0.0%					
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	新型コロナウイルス感染症拡大の継続に伴い、市主催の講座は軒並み中止、出前講座要望も特になかった。				
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、新たな啓発活動としてYouTubeを用いた動画啓発を実施。その他啓発方法についても引き続き検討をしていく。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	令和3年度中に、過去最大の新型コロナウイルス感染者が発生した期間もあり、出前講座の申込がなかった。市主催のイベント開催についても配慮が必要となってきたなか、新たな啓発方法として、動画等を活用した非対面型の啓発活動も実施した。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、新たな啓発方法として、YouTubeを活用するなど工夫されていることを評価します。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 - 1 - c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数			56団体 (H29/2017)	56団体 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和3年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
不特定多数が使用する公共用地等の美化活動に奨励金を交付する			55団体	1,320 千円	
			達成率:98.2%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和3年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・実施方法に関する相談・要望			・綿密な事前調整		
令和3年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和2年度	53団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			53団体	
				達成率:94.6%	
令和3年度	48団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			48団体	
				達成率:85.7%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	-				
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、きれいなまちづくり事業自体が開催できないとして、団体登録を控える団体が複数見られた。				
令和3年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、団体登録を控える団体が複数見られたが、個別団体への清掃活動を促進できるよう、美化デーごみ袋の利用状況アンケートを行い、実情にあった袋配布などができるよう努めた。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。登録団体を目標値としていることから、団体数の減少により達成率は下がるが、まちの美化や生活環境の保全是図られている。			

令和3年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 — 1 — d	
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課（住宅まちづくり課）	担当係	まちづくり支援係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
海老名市地域緑化事業への登録団体数				19団体 (R1/2019)	19団体 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します				
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します				
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）				
令和3年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要				目標値への達成見込	予算額	
市内における地域緑化の推進のため、地域の緑化事業を行う団体が実施する緑地等整備事業及び緑地等管理事業に要する経費に対して補助金の交付を実施				16団体	510 千円	
				達成率： 84.2 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
特になし						
令和3年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・ 緑を保全・育成する意識の向上			—			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・ 緑化手法に関する問い合わせ			・ 適切な緑化手法の周知			
令和3年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値達成実績	
令和2年度	補助金交付実績 16件 457,000円				16/18団体	
					達成率：84.2%	
令和3年度	補助金交付実績 17件 502,000円				17/18団体	
					達成率：89.5%	
令和3年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし					
課題等	団体数を増やす為に、地域緑化事業補助金制度の更なる周知が必要					
令和3年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	前年度から登録団体が1団体増えたことで、市民に対する緑化への関心を更に広げることができたため。				
内部環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。昨年度より登録団体数が1団体増加し、緑化事業への関心が高まりました。引き続き周知活動を行っていただき、緑化を推進していただきたいと思います。				

【令和4年度評価】目標指標関連事業取り組み状況シート（令和3年度分）

目標指標 (目標値(年度))	令和3年度実績
環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合が高くなったと回答した人の割合） (48.0%（令和11年度））	61.8%
<p>○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取り組みについて以下に記入してください。</p> <p>○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。</p> <p>○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。</p>	
<p>○啓発・出前講座参加数については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の情勢もあり、0件ではあったが、今後この情勢が続くことも考え、YouTubeによる動画投稿による啓発を実施した。</p>	

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づき、海老名市、座間市、綾瀬市及び高座清掃施設組合の4者で一般廃棄物処理基本計画を定めており、今年度はその見直し時期となります。今般「一般廃棄物処理基本計画（案）」を策定しましたので、報告します。また、市民から意見を聴取するため、以下のとおりパブリックコメントを実施します。

## 1 主な改定内容

別紙「一般廃棄物処理基本計画（案）の主な改定内容」参照

## 2 パブリックコメントの概要

### (1) 実施期間

令和4年12月5日（月）～令和5年1月12日（木）【39日間】

※パブリックコメント実施期間は、綾瀬市及び高座清掃施設組合と同日程

座間市は、令和4年12月12日（月）～令和5年1月12日（木）で実施

### (2) 対象者

海老名市民、市内在勤者、市内在学者及び市内事業者

### (3) 閲覧方法

環境政策課窓口、市役所情報公開コーナー及び市ホームページ

### (4) 意見の提出方法

任意の書式にて持参、郵送、FAX又は市ホームページの「お問い合わせフォーム」

### (5) 周知方法

広報えびな（12月1日号）、議会ポスティング及び市ホームページ

## 一般廃棄物処理基本計画（案）の主な改定内容

### 1 基本方針の主な改定内容（計画案P16～19）

(1) 今後の焼却施設等設置場所に向けた検討の追加（基本方針Ⅱ）

「次期焼却施設等について、候補地を含め、綿密な調整を海老名市、座間市、綾瀬市及び組合で進めていきます。」の文言を追記

(2) 三市公平な役割分担の明確化（基本方針Ⅲ）

「海老名市、座間市、綾瀬市及び組合がごみの減量化・資源化等の施策を推進するため連携を強化するとともに、三市の公平な役割分担（費用及び施設負担の公平性など）により、適正なごみ処理行政を推進します。」の文章に役割分担の例示を追記

(3) トップランナー方式の追加（基本方針Ⅲ）

「目指すべき将来像が同じであっても、三市の地域状況や財政状況によってその取り組みの優先順位は異なります。そこで、三市のうち一市が先んじて実施した先進施策のうち、その効果が他二市及び組合においても得られる見込みがある場合には、情報共有を図り、既存の基礎情報や課題を整理して、各々が実施可能な施策の導入を検討し、更なるごみの減量化を推進します。（トップランナー方式）」の文言を追記

### 2 目標値の改定内容（計画案P123～146）

目標項目		取扱い
(1)	焼却量(年間焼却量と一人一日あたりの焼却量及び各削減率)	改定
(2)	事業系ごみの減量化量	改定
(3)	一人一日あたりの家庭系可燃ごみ量	改定
(4)	一人一日あたりの家庭系ごみの減量化量	改定
(5)	リサイクル率	据え置き

(1) 焼却量(年間焼却量と一人一日あたりの焼却量及び各削減率) **改定**

○高座クリーンセンターの安全・安定稼働のため目標達成が必須

○目標達成していないため、年間焼却量は据え置き、一人一日あたりの量を最新の人口推計に基づき改定

※年間焼却量(家庭系可燃ごみ+事業系可燃ごみ+不燃・粗大残渣焼却+直接搬入ごみ)

目標項目	現計画R9目標	R3実績		改定計画R9目標
年間焼却量	約24,000t/年	26,308t/年	約2,300t減量	約24,000t/年
年間焼却量削減率 (平成12年度比)	約26%	20.2%		約26%
一人一日あたりの 焼却量	496g/人日	525g/人日		<b>469g/人日</b>
一人一日あたりの 焼却量の削減率	36%	30.9%		<b>39%</b>

(2) 事業系ごみの減量化量 **改定**

○目標を達成していないため、目標値は据え置き

○削減値ではなく、実績値を目標とすることに伴い、目標名称を「事業系ごみ量」に変更

現計画R9目標	R3実績		改定計画R9目標
5,145t/年 (3,200t削減)	8,037t/年	約2,900t減量	5,145t/年

(3) 一人一日あたりの家庭系可燃ごみ量 **改定**

○令和元年度目標値のままでは、年間焼却量の目標を達成できないため、最新の人口推計に基づき年間焼却量達成に見合う目標値へ改定

現計画R1目標	R3実績		改定計画R9目標
400g/人日	341g/人日	1g/人日減量	340g/人日

(4) 一人一日あたりの家庭系ごみの減量化量 **改定**

○現時点の実績を維持する目標値に改定

○削減値ではなく、実績値を目標とすることに伴い、目標名称を「一人一日あたりの家庭系ごみ量」に変更

※家庭系ごみ量（可燃ごみ＋不燃ごみ＋粗大ごみ＋資源物）

現計画R9目標 680g/人日 (31g/人日削減)	R3実績 570g/人日	目標達成済み	改定計画R9目標 570g/人日
----------------------------------	-----------------	--------	---------------------

(5) リサイクル率 **据え置き**

○目標を達成していないため、目標値は据え置き

現計画R9目標 約40%	R3実績 34.6%	約5.4%アップ	改定計画R9目標 約40%
-----------------	---------------	----------	------------------

3 今後進めていく主な施策（計画案P147～165）

(1) 減量化に関する施策

1	剪定枝の新たな資源化手法(チップ化、たい肥化等)の検討
2	事業系ごみ搬入手数料の見直し
3	事業系ごみ減量化支援(生ごみ処理機貸出や補助、優良取組事例認定)
4	食品ロス削減の周知やフードバンク・フードドライブなどの紹介
5	紙おむつの資源化手法の検討

(2) 適正排出に関する施策

1	違反ごみのある集積所対応制度の運用
2	プラスチック資源循環推進法に基づく分別収集・処理についての検討

(3) その他の施策

1	リサイクルを通じたSDGs関連目標の達成
2	有料化・戸別収集導入の実績報告、課題整理による定期的な見直し

## 4 その他

今後の市の土地利用などの状況により、目標値算出に用いた人口等の基礎データに著しい変動が生じた場合、目標値と実績に乖離が生じることが予想されます。その場合、必要な修正を行う場合ある旨を記した文言を追加しています。（計画案P123）